

がんばれ!

ベアーズ

〈ニュー・シーズン〉

ルール無用な、
落ちこぼれチームが
やりました!



『スクール・オブ・ロック』のリチャード・リンクレイター監督作品

ビリー・ボブ・ソントン

パラマウント映画 配給 メディア・タレント・グループ プロダクション インテリエンティヴ・ウイズ・ア・フィルム・プロダクション リチャード・リンクレイター 作品 ビリー・ボブ・ソントン "BAD NEWS BEARS"
グレッグ・キニア アニマ・マージャ・ゲイ・ハーデン 音楽 エドワード・シエアマ 音楽 スー・バウイザ・ランドール・ポスター 衣装 カレン・パッチ 編集 サンドラ・エイデア・ACE プロダクション デザイン ブルース・カーティス
撮影 ロジェ・ストファース NSC 製作総指揮 マーカス・ウイジティ 製作 J.ゲイヤー・コンンスキー リチャード・リンクレイター オリジナル脚本 ビル・ランカスター 脚本 ビル・ランカスター グレン・フィカーラ ジョン・レック

www.bears-movie.jp 監製 リチャード・リンクレイター UIP 配給



字幕スーパー版/日本語吹替版

TM & Copyright © 2004
No. 2849000000
All Rights Reserved.

TAKE ME OUT TO THE BALL GAME~♪

スタンディング・オベーション

全米総立ちの拍手喝采!

小さなボールパークは、ボクたちの「フィールド・オブ・ドリームス」だ!!

① **インゲルバーグ**

太った体を揺らし、いつでも何かに怒っている。只今ダイエット中だが体脂肪率は**No.1!**

② **アマード**

ホームラン・キング、マーク・マグワイアが彼の憧れ。MLBを目指す気持ちは**No.1!**

③ **ブレム**

野球を通じて「正しい英語」を勉強中のインド人。PCを使ったデータ分析力は**No.1!**

④ **アマンダ**

バッテリーメーカーの娘で、ベアーズのエース。豪速球のスピードと気の強さは**No.1!**

⑤ **ケリー**

ベアーズの三冠王。バイクを乗り回し、悪い噂が絶えない不良だが野球の腕前は**No.1!**

⑥ **バッテリーメーカー**

2/3回だけマウンドに立ったことのある元MLBプレイヤー。アルコール濃度は**No.1!**

⑦ **フーバー**

車椅子だって走塁もできるし守備もできる。トップギア(?)のスピードは**No.1!**

⑧ **ルーバス**

いつでも静かにゲームを見つめているイジメられっ子。エラーする確率は**No.1!**

⑨ **トビー**

教育熱心な弁護士ママの愛情を一身に背負った優等生。グローブの手入れは**No.1!**

⑩ **ホゼ**

℃♀☆\$@&#*%_ \$◎▲∈√ ♪♪♫◇¥… スペイン語の通訳必要度は**No.1!**

⑪ **ミゲル**

ホゼとは双子の兄弟。相手チームへのヤジもスペイン語でするほど、国際貢献度は**No.1!**

⑫ **ギャロ**

アルメニア系の両親に、野球を認めてもらおうと必死。デッドボールでの出塁率は**No.1!**

⑬ **タナー**

口は悪いが実は仲間思いのムードメーカー。生意気さや喧嘩っ早さは**No.1!**

No.1が勢ぞろい!
彼らならワールド・チャンピオンも夢じゃない!
対戦チームに“BAD NEWS”をもたらす、史上最強の“BEARS”オールスター

『スクール・オブ・ロック』のスタッフがまたやってくれた!
今度は野球で、ダメな大人と落ちこぼれチームが大ブレイク!!!

1976年、個性あふれる少年たちとコーチの心の交流を、笑いと感動で包んだスポーツ映画が世界中で大旋風を巻き起こした。それは多くの人々に愛されただけでなく、いまだにチームワークの素晴らしさを描いたハリウッド映画の原点とされている作品、「がんばれ!ベアーズ」である。

そんな名作が約30年の時を超え、新たなテイストでスクリーンに帰ってきた!

2005年版の「ベアーズ」は、オリジナル作品より過激にパワーアップ!

しかし、勿論かつてのスピリットと、抱腹絶倒のキャラクターたちはそのまま。辛らつでシニカルなのに、なぜか温か味のある心のキャッチボール。そしてスポーツならではの“珍プレー好プレー”が生み出す興奮と爽やかな感動。新鮮な輝きを失わない傑作エンターテインメントにきっと心奪われるに違いない。

主演のバッテリーメーカー役は、これ以上ないハマリ役のビリー・ポブ・ソントン。抜群の演技で、小さなクセ者たちのパワーを受け止めている。一方「ベアーズ」のメンバーは半分以上が新人の子役たちであるにも関わらず、その“生意気な演技力”には驚かされるばかり。その他、アカデミー賞女優マーシャ・ゲイ・ハーデン、同賞ノミネート経験を持つグレッグ・キニアが脇を固めている。

監督は「スクール・オブ・ロック」のリチャード・リンクレイター。前作の“音楽を通じた交流”を、本作では見事“野球”に置き換え、名作の2005年版に相応しい演出を手がけている。

かつては元マリナーズのピッチャーだったバッテリーメーカーだが、今では飲んだくれの害虫駆除稼業。そんな彼に少年野球コーチの話が舞い込む。金のためだと渋々引き受けたのはいいけれど、「ベアーズ」の選手たちは彼以上にヤル気がなく、彼以上に個性的な面々。ところがバッテリーメーカーの娘アマンダと、名うての不良ケリーが加わったことで、ダメチームが徐々に変わっていく。そこから彼らは連戦連勝!ベアーズの快進撃が始まる!!

STORY

がんばれ!
ベアーズ
(ニュー・シーズン)

出演:ビリー・ポブ・ソントン [「ブライト/栄光への絆」] [「バッドサンタ」]
マーシャ・ゲイ・ハーデン [「ボロク 2人だけのアリエ」] [「モナリザ・スマイル」]
グレッグ・キニア [「ふたりにクギづけ」] [「恋愛小説家」]
監督:リチャード・リンクレイター [「スクール・オブ・ロック」] [「ビフォー・サンセット」]
2005年度作品/アメリカ映画/バスマント作品/UV配給/ビスタビジョン
DTS,SRD:SR/6巻/上映時間:1時間53分/翻訳:松崎広幸



9月下旬よりプレイボール! 特製エアーフリスビー付特別鑑賞券好評発売中!
一般¥1,300(税込) 小人¥800(税込) ※一部劇場を除く

日比谷東宝映画街・帝国ホテル向い

みゆき座 (3591) 5357

フジテレビ前・アクアシティお台場

シネマメディアージュ (5531) 7878

JR新宿中央東口・三越ウラ 武蔵野ビル3F

新宿武蔵野館 (3354) 5670